

The Scientific Name of Tokin-ibara

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00055948

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



○ トキンイバラの学名について(鳴橋直弘) Naohiro NARUHASHI: The Scientific Name of Tokin-ibara
トキンイバラ, キクイバラ, エドイバラ, ボタンイバラ, または, スズカケイバラと言う名が示すように,
キイチゴ属でありながら, 一見バラを思わせるこの植物は, 古くから日本で栽培されて来た。そして, この植
物は, *Rubus commersonii* POIRET か, または, *R. coronarius* (SIMS) SWEET (オリジナルは *R. rosaefolius*
β. coronarius SIMS) と同じであると考えられて来た(牧野, 1965; 大井, 1965; 北村・村田, 1981)。

しかし, 小泉先生(KOIDZUMI, 1930)は, トキンイバラを SIMS の *coronarius* や POIRET の *commersonii* と
は違うと考え, この植物に *Rubus eustephanus* FOCKE var. *coronarius* KOIDZUMI の新名を付けた。

最近, 原先生は, *commersonii* と *coronarius* は同じ種に属し, その種名は *R. rosifolius* SMITH であり, さ
らに, トキンイバラはこれらとは別種であると報告された(原, 1985)。そして先生は, 牧野先生のトキンイ
バラがバライチゴと同種であるという考えに立ち, その品種として新しく記載された。

今回, 筆者は, 牧野新日本植物図鑑の改訂にあたり, キイチゴ属を分担することになったため, トキンイ
バラの学名について触れる必要に迫られた。

以前から, 筆者も, ヨーロッパの標本庫でタイプ標本を観察し, また, トキンイバラと *R. commersonii* を
富山大学で栽培し, トキンイバラについては, *R. commersonii* や *R. coronarius* とは違うという原先生と同じ
考えをもっていた。しかし, 牧野や原両先生のように, バライチゴと同じ種とは考えていない。バライチゴの
植物体の高さは, 直射が当たる乾燥地では 10 cm ぐらいのこともあるが, 普通 20~30 cm で, 日蔭のよく伸び
たものでもせいぜい 40 cm であるのに対して, トキンイバラは好条件だと茎は 2 m にも達する。また, 野外の
バライチゴの茎は冬には完全に枯れる 1 年生であるのに対して, トキンイバラの茎は 2 年生である。この特徴
の差だけでも両者は同種とは思われない。

重弁化したトキンイバラのもとの植物については, 小泉先生同様筆者も, 中国の *R. eustephanus* Focke ex
DIELS が最も近いと考えているが, なにしろこの中国の植物の生を見ていないので確信に至ることができない。
また, *R. eustephanus* FOCKE var. *coronarius* KOIDZUMI を使用すると, SIMS の *coronarius* と混同する。現
時点では, とりあえず, トキンイバラを独立種として取り扱う事とし, 原先生の *Tokinibara* を生かす事とした。

As the scientific name of Tokin-ibara, Japanese taxonomists adopted either *R. commersonii* or *R. coronarius*. HARA (1985) considered that Tokinibara was a different species from these two species, and named it as a forma of *R. illecebrosus*, i.e., *R. illecebrosus* f. *tokinibara*. Tokin-ibara, however, should be regarded as a different species from *R. illecebrosus*, since this plant is characterized by quite different features, such as tall biennial stems, attaining 40-200 cm; while *R. illecebrosus* has short annual stems of 10-40 cm. Thus, the author adopted a new specific epithet, *Rubus tokin-ibara* (HARA) NARUHASHI, which was illegitimately used previously MAKINO's New Illustrated Flora of Japan by M. ONO *et al.* (1989).

Rubus tokin-ibara (HARA) NARUHASHI (in M. ONO, H. OHBA, & M. NISHIDA, Rev. MAKINO New Illustr. Fl. Jap. 282 (1989), nom. nud.), stat. nov. *R. illecebrosus* FOCKE f. *Tokinibara* Hara in Journ. Jap. Bot. 60: 132 (1985); MOMIYAMA in SATAKE, HARA, WATARI & TOMINARI, Wild Fl. Jap. Woody Pl. II: 212 (1989), sub *R. illecebrosus* FOCKE var. *tokinibara* HARA.

Type: H. HARA, May 26, 1984, fl., [TI]

Jap. name: Tokin-ibara

引用文献

原 寛. 1985. 東亜植物注解 (16). 植物研究雑誌 60: 129-133.

北村四郎・村田 源. 1981. 原色日本植物図鑑 [II]. 545. 保育社. 大阪.

KOIDZUMI, G. 1930. Fl. Simb. Orient. -Asiat. 64.

牧野富太郎. 1965. 新日本植物図鑑 1060 pp. 北隆館. 東京.

大井次三郎. 1965. 日本植物誌 改訂新版. 1560 pp. 至文堂. 東京.

(〒930 富山市五福 3190 富山大学理学部生物学教室: Department of Biology, Faculty of Science, Toyama University, Gofuku, Toyama 930, Japan)